令和6年1月25日

福光中部小だより

No. 5 2 4

南砺市立福光中部小学校

ホームページ http://www.fukumitsuchubu-e.nanto.ed.jp/ E-mail fukumitsuchubu-es@tym.ed.jp

自分で考え、実践する力を

高田 公美

雪もなく穏やかなお正月が一変し、大きな災害が発生しました。子供たち、保護者の皆様、地域の皆様、教職員の無事を確認し、胸をなで下ろしております。犠牲になられたすべての方々にお悔やみを申し上げます。また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げ、被災地の皆様の安全と、一日も早い復興をお祈りしております。

本校も体育館ステージの天板、ステージ2階の天井の一部が崩落し、ステージがしばらく使えない状態です。校内には、亀裂ができたり、物が散乱したりした場所もありましたが、安全を確認し、通常通りの教育活動を行っています。

始業式で子供たちには、「自分の命は自分で守るために、自分で考える力を付けること」「これまで当たり前だと思っていたことは、当たり前ではなくありがたいこと」という話をしました。

休み中に読んだ本(「勝ち続ける組織の作り方」(黒田 剛 FCゼルビア監督)のハンバーグの話に考えさせられました。概要を紹介します。

黒田氏が青森山田中学校の副校長をなさっていたときの事例。

小学校を卒業した 6 年生が中学校に入ってくると寮生活をして、サッカーの遠征にも行く。あれも食べられないこれも食べられない、食べるものがほとんどない子供が少なからずいる。ニンジンや玉ねぎが苦手な子供に細かく刻んでそれと分からないようにしてハンバーグの中に入れ、栄養素だけはとらせるという方法を続けてきた親の努力で、子供をダメにしているのではないか。自分から挑戦していくチャンスを奪ったことになるのではないか。嫌なことや苦手なことに取り組ませるのは、互いにストレスが溜まり、わだかまりも生まれる。けれども、生涯同じ状況の中で過ごしていけるわけでもないので、苦手や嫌なことをそのままにしておくともっと大きなストレスを抱えることになってしまうのではないか。

それぞれの子供の得意なこと好きなことを伸ばすことは、これまでも大切にしてきました。しかし、それだけではなく、もう一方で、自分の苦手に向き合い、克服する経験も同じくらいに大切にする必要があることを感じました。上記の本の中では、個を育てる一つの方法が集団の仲間の力であると述べています。学校なら、学年、学級やグループの力になるでしょうか。個別にそして、集団の力も借りて、一人一人の子供の将来を見据えて「自分で考え、実践する力」を育んでいかなければならない責任があると身が引き締まる思いで読み進めました。

教職員一同、チームで子供たちのよりよい成長を支えて参ります。今年もご支援、ご協力をど うぞよろしくお願いいたします。



【ふれあい隊・バスの運転手の皆様へ】

いつも、子供たちの登下校の安全のために見守りをしていただきありがとうございます。 2月13日(火) \sim 16日(金)を「感謝を表そう週間」とし、日頃の感謝の思いを言葉や手紙で伝えようとしています。ぜひ受け取ってください。

6年生は1学期よりふるさとの偉人「松村謙三」さんについて学習してきました。松村謙三さんの業績や、ふるさとに対する思いや人柄等、資料を読んだり、松村記念館へ校外学習に行ったりして詳しく調べました。

2学期には、松村謙三さんのことをもっと多くの人に知ってもらいたいと思い、今年度発刊された漫画「郷土の政治家松村謙三」を基にした劇を創り、演じました。

子供たちは、松村さんの業績の背景にある思いや人柄を伝えようという 目標をもち、仲間と協力して練習を繰り返しました。発表当日は、松村記念 館の方や漫画の原作者である、森みちこさんにも来校していただき、「感動 した」や「松村さんの人柄が劇を通して伝わった」というありがたい言葉を いただきました。

劇を演じた6年生の感想からも、「松村さんの気持ちを想像し、劇を演じたことで、松村さんの心の強さや優しさなどを、以前勉強したときよりも、更に深く知ることができた」と、学習を通して松村謙三さんのふるさとを思う気持ちを感じ取った子供たちが多かったです。卒業した後も、いつまでもふるさと福光に対する思いをもって過ごしてほしいと思います。



<劇を演じた6年生>



<森さんより感想をいただきました>

学校給食週間 給食に携わる人々への感謝

1月24日(水)から1月30日(火)までは、全国学校給食週間です。 子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向等、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。このような学校給食の意義や役割について、子供たちの理解を深めるとともに、本校の学校給食週間では日頃お世話になっている調理員さんや食材を提供してくださる肉屋さんなどへ、感謝の寄せ書きカードを送ったり、地域の食材を掲示物や実物を掲示したりして、「食」への興味や感謝の気持ちをもって食べてほしいと活動しています。

給食委員会 荒木 裕治



<寄せ書きについて説明する委員会の児童>



6日(火)	委員会活動	16日(金)	学習参観•学年学級懇談会
8日 (木)	中学校入学説明会	19日(月)	校外班集会
9日(金)	入学オリエンテーション	20日(火)	委員会活動
13日(火)	クラブ活動	26日(月)	学期末特別日課 (~3/4)
14日(水)	市長への提言(3年生)	29日(火)	卒業を祝う会

ふれあい隊・こども110番の家の皆様へ



2月の下校時刻変更をお知らせします。

5日(月)	19日(月)	全校集団下校	14:25 (1~6年)
6日(火)	20日(火)	委員会活動のため	14:25 (1~4年)
			15:15 (5・6年)
16日(金)		学習参観・学年学級懇談会のため	14:25 (1~6年)
13日(火)		クラブ活動のため	14:25 (1・2年)
			15:15(3~6年)
26日(月)~	3月4日(月)	学期末特別日課のため	14:25 (1~6年)